

薩南だより

鹿児島県立薩南工業高等学校

ホームページ <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/satsunan/>

生徒会 <http://satsunan.edu.pref.kagoshima.jp/satsunan/>

設置学科 (建築科・機械科・情報技術科・生活科学科)

仕事について

校長 柚木 正人

「仕事力(金版)」(朝日文庫)という本を読んだことがあります。いろいろな職業の方々が、仕事を通してそれぞれ体験してきたことや考えていることを分かりやすく述べています。もともと朝日新聞に連載された記事を文庫版としてまとめたものです。

登場する人々は、作家、弁護士、音楽家、レーシングドライバー、俳優、経営者など多くの領域にわたります。現在の仕事に対して、自分なりにどのように考え、取り組んできたかが象徴的に書かれていて、素直な気持ちで読み進むことができます。本書のあとがきに「時代は大きく転換しています。今まで思いもしなかったことも仕事になる。あなたが仕事と思ったことはすべて仕事となる。そんな時代の到来です」とあります。これから、仕事とは何か、働くとはどういうことかを考えるとき、とても参考になることばに出会えると思います。

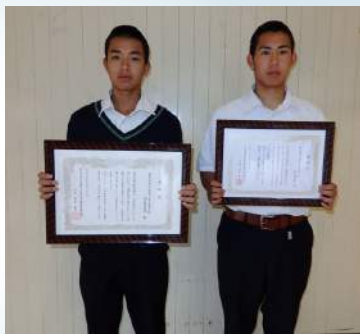
ひとが行動する時、そのひとを駆り立てるものが何かあるはず。例えば、誰もやったことのないようなことを成し遂げたいなどです。さらに、ひとの本質的な側面を考えると、ともにいる人を大切に考えることができるかどうかも大切な要素のようです。

古くから、働くとは、はたをらくにすることと言われるのはひとの本質を表しているようです。仕事に就いて働くとは、自分自身の成長の跡であると同時に周囲に貢献する喜びでもあるといえます。

7月より求人票の受付が始まりました。3年生は、特に、仕事について真剣に十分な考慮をしてください。

挨拶運動表彰 野球部

野球部が毎朝行っている立哨挨拶運動・交通安全指導が、南九州市交通安全市民運動推進協議会から表彰されました。3年生部員は、「毎朝7:30から8:00まで活動しています。小学生の笑顔を見るたびに『今日も1日頑張ろう!』と勇気づけられています。さらに交通指導もしているので、交通安全に対する意識も高まっています。この伝統ある挨拶運動と交通安全指導が自分たちの現役の時に表彰されてとても光栄です。この表彰に恥じないようにこれからも続けていきたいです。」と語ってくれました。



南九州大会出場 陸上競技部

南九州4県の県大会成績上位者が競いあう南九州大会に陸上競技部の機械科3年小段壮太君と情報技術科2年松崎菜桜さんが出場しました。小段君は県大会では三段跳びに出場し、予選から自己記録を更新し、決勝でも自己ベストを大幅に更新して6位に入賞しました。松崎さんは県大会で円盤投げに出場し、28m89cm飛ばして、自己記録を86cm更新して5位に入賞しました。



ものづくりコンテスト



工業系の高校生が専門分野の技術を競う「ものづくりコンテスト」が開催されました。各部門の最優秀者は、県代表として7月に開催される九州大会に出場し、結果を残せば更に全国大会に出場します。

旋盤部門に機械科3年生の大隣竣君が出場しました。課題は、『制限時間120分以内に円筒状の材料から部品を削り出す』というものです。100分の1ミメートルの精度で仕上げなければならない、非常に高い技術を要する競技です。

競技に出場するに当たり、3か月前から練習に取り組んできました。結果は、惜しくも入賞に手が届きませんでしたが、大会出場を通して技術と自信を身につけることができました。

電子回路部門に情報技術科3年の鱒坂圭史君、中之蘭遼君が出場、木材加工部門に建築科2年の阿野山朱璃が出場しました。木材加工部門は、105角・90角・40角の木材を使用して屋根の一部分を2時間30分以内に作るという課題です。全出場者が2年生だったこともあり、審査委員長から「来年はガラッと順位が入れ替わることになると思う」、という講評をいただきました。

来年の大会に期待したいです。



水車からくりプロジェクト



今年度から薩南工業高校では、以下のような目的で「水車からくり人形の製作」を行っています。

- 1 地域の歴史と伝統を学び「水車からくり人形」製作を通して学校の活性化と地域の活性化を目指す。
- 2 この地域では農業用だけでなく工業用としても水車が利用されてきた。その歴史と木工技術を学び、木製水車を製作する。
- 3 国や県の文化財となっている水車からくりの歴史と技術を学び、からくり人形を製作する。
- 4 水車を動力源とするからくり機構や動力伝達系を学び、人形を動かす。さらに再生エネルギーとしてLEDライトを点灯させる。
- 5 地元小学校に出向き、水車やからくり人形について学んだことや製作過程を発表する。

これらの活動を通して地域の伝統文化や伝統技術に興味関心を持ちかかわっていく生徒を育てる。



ねふた製作以来の学校あげてのプロジェクトになります。成功できるようにご協力をお願いします。

砂の彫刻入賞 美術部

美術部が吹上浜砂の祭典「砂の彫刻選手権」で鹿児島県観光連盟賞を受賞しました。美術部員は、「今年のテーマは『ハッピードライブ』です。宇宙をイメージした作品を制作しました。暑い中2m×2mの砂のかたまりを削って形を作っていました。普段製作している陶芸の作品は、下から積み上げて作っているのですが、この作品は上から削っていくので思ったように加工できずに難しかったです。しかし高校生らしい元気いっぱいな作品が完成しました。」と語ってくれました。



学科紹介 建築科

「建築」と言えば何を連想するでしょうか。設計士・建築現場監督・大工・インテリアデザイナー・CADオペレーターなどなど。建築には幅広い分野が存在します。本校建築科は、その幅広い分野に対応するための教育体制を構築しています。本学科の特徴は①CAD教育に力を入れていることです。CAD(キャド)とは、パソコンで設計図面を描くためのソフトです。建築CAD検定の合格者も毎年多数輩出しており、3年連続準1級合格者は本校が全国唯一という実績があります。また、設計競技大会で連続受賞をしています。



②木材加工の技術を学べます。練習を積むことで国家技能士(建築大工)資格を取得出来ます。③2級建築士受験資格(卒業後実務経験が必要)や2級建築施工管理技術検定(筆記は在学中に受験)などの国家資格受験対策を行います。進路先も建築職だけではなく東京ガスなど他分野大手にも多く就職しています。また、4年制大学にも工業科特待生として授業料減免を受けて国立大学よりも安い費用で進学をしています。「建築」を自分の夢にしてみませんか?

今後の予定

- | | | |
|----|--------|----------------|
| 7月 | 26日(日) | 第2種電気工事士試験(実技) |
| | 29日(水) | 中学生1日体験入学 |
| 8月 | 4日(火) | 親子ふれあいものづくり教室 |
| 9月 | 1日(火) | 始業式 |
| | 12日(土) | 体育祭 |
| | 16日(水) | 就職試験選考開始 |